

ファイン・ファイネット

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす

FINE FINET

ファイネット発行

2020

Vol.53

Spring

[FINET User's Voice]

得意先様への WebEDI活用推進による 受注業務効率化の取り組み

日本製粉株式会社 様

[FINET INFORMATION]

酒類・加工食品業界の標準化に向けた業界の取り組み

取引先コードの標準化を目指して

[FINET HELP DESK]

接続テスト実施時間拡張のお知らせ

～ホスト接続のユーザー様へ～

nippon

FINET User's Voice



日本製粉株式会社 様

写真: (左から) 女澤次長、佐藤部長、土屋様

得意先様へのWebEDI活用推進 による受注業務効率化の取り組み

メール/FAX発注の得意先様へファイネットWebEDIを推進し、
受注業務の効率化に取り組まれている日本製粉様。
取り組みの背景や効果、今後の方針をうかがいました。

日本製粉株式会社

流通業務部 次長 女澤 一夫様

株式会社日本製粉システムセンター

常務取締役 システム部長 佐藤 彰夫様

システム部 システム課 土屋 理希様

EDI推進の取り組み

—はじめに貴社の事業概要について
お聞かせください。

女澤 弊社は、1896年に日本で最初の機械式製粉の民間企業として誕生しました。今日では、製粉事業やプレミックス・パスタ・冷凍食品などの食品事業、健康食品や自然化粧品などのヘルスケア事業、ペットフード事業、バイオ関連事業など多角的に事業展開をしています。おかげさまで、多くの得意先様とお取引させていただいています。

—貴社のEDI推進の取り組みについて
お聞かせください。

佐藤 弊社では、1988年頃から受注のEDI化を開始し、現在では食品事業の受注EDI化率は70%まで進んでいます。EDI化の推進は、全国5箇所の受注拠点毎に取り組んでいます。日々の受注業務の中で、FAXで受注した得意先様が、弊社の他の受注拠点でEDI化できているかを確認しています。

加えて、ファイネットから提供いただいているファイネット加入卸のEDI接統一覧表にて、発注元の得意先様がEDIに対応されているかを確認しています。これらの確認結果を踏まえて、EDI化できる可能性がある得意先様には弊社からEDI化の打診を行っています。

土屋 基本は、営業担当者が得意先様へコンタクトを取りEDI化の打診をしています。得意先様のEDI担当者が不明の場合はファイネットに協力を仰ぎ、得意先様のEDI担当者を紹介いただくこともあります。EDI化の承諾をいただいた得意先様とは、EDIでの運用方法などの確認を行います。主な確認項目は、データの内容や対象品目、締め時間などです。その後、EDIを実際に開始する際には、1週間程度FAXとEDIを併用して受注内容を比較し、問題のないことを確認したうえで、FAXの停止をもってEDI化を完了しています。

そういった取り組みを進めた結果、ファイネットの商品流通VANサービスを通じて、93社の得意先様と受注のEDI

化が実現できています。

女澤 一方、ファイネットに未加入の得意先様との受注EDI化は難航していました。そのため16年ほど前に、弊社ではそういった得意先様向けに、MailEDIシステムを構築し、得意先様にご利用いただくことになりました。得意先様のパソコンにインストールして利用いただくソフトウェアで、届け先や商品の発注数量を入力いただくと、自動的に弊社にEメールで発注内容が届く仕組みです。

得意先様側の操作が簡便であったこともあって、50社を超える得意先様にご利用いただけるまでになっていました。

ファイネットWebEDI推進

—MailEDIから、ファイネットのWebEDIへの切り替えに至った経緯についてお聞かせください。

女澤 ファイネットに未加入の得意先様へのMailEDIの導入は進みましたが、次第に保守運用のコストや業務負荷などの課題が浮き彫りになってきました。

1つは、Windowsのバージョンアップ対応です。Windowsのバージョンアップが行われる度にMailEDIの動作検証、ときには改修を行う必要がありました。さらに、改修したMailEDIを各得意先様のパソコンに再インストールする作業が発生していました。MailEDIをインストールするのは、営業担当者が得意先様の事務所へ伺い設定作業を行っていたので、得意先様にお手間を取らせてしまうのと同時に弊社営業担当者にも負担が掛かっていました。同様に、得意先様のパソコンや担当者が変更された際も、都度得意先様の事務所へ営業担当者が伺い設定作業を行っていました。

土屋 2つ目の課題は、MailEDIが動作しない事象が多くなってきたことで



す。MailEDIの不具合などがあつた際のお問い合わせは、システム担当者が対応していますので、その対応の負荷も大きくなっていました。不具合の主な要因として、得意先様のシステム面(特にセキュリティ)での環境変化によってご利用いただけなくなるケースが出てくるようになりました。そのような課題が浮き彫りとなる中、2020年1月のWindows7サポート終了が発表されWindows10などへの移行・対応の必要にせまられていました。

これらのことから、MailEDIの改修・更新を検討した結果、これまでのパソコンにインストールするソフトウェアから、Webサイト上で操作するシステムに移行する案が浮上しました。しかしながら、自社固有のWebシステムを構築すると、結局システム保守・運用のコストや業務負荷が生じる点が課題となりました。

佐藤 そこで、業界共通基盤としてサービス展開しているファイネットのWebEDIを利用することを検討しました。ファイネットのWebEDIの機能やヘルプデスクなどのサポート体制を確認した結果、MailEDIからファイネットのWebEDIに移行することにしました。自社固有のシステムではないため、保守・運用はファイネットがサービスとして継続的に行っていくことが担保されている点がポイントでした。また、ファイネットのWebEDIのリニューアルの情報及びその結果もポイントの一つです。



ただ、この移行の実現にはMailEDIをご利用いただいている得意先様のご理解を得たうえで、ファイネットのWebEDIに移行していただく必要があります。弊社のメリットもさることながら、得意先様にもメリットがあることが大変重要です。得意先様が、ファイネットのWebEDIをご利用いただくことで、弊社を含めた多くのメーカー様とのEDI化が可能になります。また、ヘルプデスクの受付時間も、7:30~23:00と長時間のサポート体制であること

など、得意先様にもメリットがあると考えています。

—ファイネットのWebEDIへの移行についての、得意先様へのアプローチ方法をお聞かせください。

女澤 MailEDIをご利用いただいている得意先様各社に、営業担当者と協力してファイネットWebEDIへの移行をお願い

しています。ただ、ファイネットWebEDIを各得意先様へ導入いただくにあたり、ファイネットの加入方法やファイネットWebEDIの仕組みをある程度理解する必要がありますので、社内で勉強会を開催しました。勉強会は本社の流通業務部を事務局として、システムセンターが講師を務め、受注拠点の管理担当者からEDI化の事例発表なども交えて行いました。



土屋 社内勉強会の目的の一つは、EDI化の知識共有です。そのため、EDIに関する言葉の説明(EDIとは、VANとはなど)から始めました。また、EDI化のメリットを説明すると共に、注意点についても認識を持ってもらいました。そのうえで、ファイネット提供の接続状況表などを用いて、自社のEDI受注業務における業界でのポジションの確認などの現状を共有しました。

もう一つの目的は、EDI化の際に発生する課題の克服方法と先見の知識の共有です。これは、事例紹介を介して、それぞれ発生した課題とそれを乗り越えた方法などを発表してもらい、受注拠点間でのレベルの統一を目指しました。

業務効率化への意識向上

—ファイネットのWebEDIへの移行によって得られた成果をお聞かせください。

土屋 WebEDIへの移行では、先ほど申し上げた自社固

有のシステムにつきものである、保守・運用業務から解放されたことが大きな成果です。

現在では、MailedEDIを導入していただいている得意先様への移行推進に加え、FAX発注の得意先様にもファイネットを経由したEDI化の提案を積極的に行っています。

女澤 EDI化で、正確性の向上、受注入力の削減、受注返信FAXの削減など、各受注拠点で大きな改善効果が表れています。WebEDIへの移行推進をきっかけに、社員一人一人の業務効率化への意識が高まったことも大きな成果であると感じています。WebEDIへ移行いただいた得意先様は、現在18社にのぼります。まだ、移行されていない得意先様へは、引き続きWebEDIを利用いただく提案を行う予定です。

今後の方針

—今後のEDI拡大方針についてお聞かせください。

土屋 まずは、MailedEDIを導入いただいている得意先様の協力をいただきながら、ファイネットWebEDIへ完全に移行し、MailedEDIを廃止することを念頭に置いております。

また、今回のEDI推進を足掛かりとして社員一人一人のEDIに対する知識の向上を狙っています。

佐藤 最近では、受注EDI以外にも販売促進金のEDIやファイネット資材VANサービスを利用した資材調達におけるEDIの検討/準備を行っています。また、EDIにおける通信手順についても、現在の全銀協TCP/IP手順からインターネット手順へ速やかに切り替えていく予定です。

—最後にファイネットに期待することや課題などがあればお聞かせください。

佐藤 現状、未だにFAX受注が残っており、ファイネットに未加入の得意先様もまだまだいらっしゃいます。今後一層EDI化を進めていく中で、もっと普及推進しやすくなるような仕組みや制度が欲しいですね。そういった部分をファイネットに期待しています。

—ご期待に沿えるよう引き続き取り組んで参ります。本日は貴重なお話をお聞かせいただき有難うございました。

CORPORATE PROFILE

いつも食卓に、ニッポン

nippn

日本製粉株式会社(ニッポン)

1896年に我が国の民間初の機械式製粉企業として創立し、製粉を主軸に長年事業展開してきました。現在は、食品事業が売上の6割以上を占め、多角的食品企業として成長路線を歩んでいます。2019年9月にはコーポレートロゴのデザインを変更し「いつも食卓に、ニッポン」をスローガンに食シーンに欠かせない会社を目指して参ります。

創立	1896年(明治29年)9月
代表者	代表取締役社長 近藤雅之
本社所在地	東京都千代田区
売上高(連結)	3,353億9千9百万円(2019年3月期)



酒類・加工食品業界の標準化に向けた業界の取り組み 取引先コードの標準化を目指して

弊社では、酒類・加工食品業界のメーカー・卸間を中心とした商取引等に関する各種情報交換業務の標準化を推進しています。現在、EDIデータに使用される「取引先コードの標準化」が優先課題の1つとして取り上げられており、ユーザー様に酒類業界を中心に長く活用されている「統一取引先コード」のご利用を推進しています。

統一取引先コードとは？

商品流通VANサービスでご利用いただいている一般社団法人日本加工食品卸協会が定めたデータフォーマット（日食協標準EDIフォーマット）にて、標準コードの一つとして規定された事業所/物流拠点/店舗などの場所を表す8桁のコードです。

■コード体系



■登録可能範囲

- ・酒類・食品（飲料を含む）を扱うメーカー・卸売業・小売業を営む企業やその店舗および拠点
- ・その他、特に弊社が必要と認める企業の店舗および拠点
- ※酒類・食品（飲料を含む）の取り扱いがない商品流通VANサービス利用企業等

なぜ統一取引先コードなのか！

酒類・加工食品業界のメーカー・卸間で、**実運用、実活用**がされている**唯一の標準取引先コード**であるからです。

■統一取引先コードは利用者申請が可能！

取引に必要な企業、事業所、店舗等のマスタ情報をユーザー様がいつでも申請いただけます。

高い網羅性

登録件数約45万件。
国内の小売店舗をほぼ網羅！

高い鮮度

新店、移転、閉店情報の申請が迅速に
されており、マスタ情報は常に新鮮！

高い精度

申請されたコードは、コード管理センターによる厳正なチェックを経て登録！

■商品流通VANサービスの各種EDIデータでご利用いただいています！

〈ご利用例〉

受発注、出荷案内

次店コード・届け先コード

販売実績

卸店コード・取引先(小売店舗)コード

統一取引先コードご利用のメリット

統一取引先コードを始めとする取引先マスタ情報(屋号店名、住所、電話番号等)をご利用いただくことで・・・

取引先に関わる個別のコード変換処理を無くし、取引先マスタ管理にかかる作業負荷の大幅な軽減が可能です！

コードの標準化は、企業間取引における標準化の第一歩！

商品流通VANサービスユーザー様は無料でご利用いただけます。
統一取引先コードを積極的にご活用いただき、業界全体で業務の効率化を目指しましょう！

統一取引先コードに関する詳細は・・・ <https://www.finet.co.jp/shohin/code.html>
統一取引先コードの活用事例は・・・ <https://www.finet.co.jp/finet/index.html> (FINE FINET 52号)

「統一取引先コード」に関するお問い合わせ先

ファイネット 企画部 TEL: **03-5643-3430** (平日9:00~17:30) Mail: planning@finet.co.jp

接続テスト実施時間拡張のお知らせ ～ホスト接続のユーザー様へ～

弊社では、ホスト接続をご利用のユーザー様を対象にして、ご加入時や通信環境更改（通信手順の変更、通信設定の追加、通信機器の入替）時など、相手先企業とのデータ交換開始前に、弊社VANとの間で通信が支障なく行われることを確認いただくため、接続テストの実施をご案内しています。

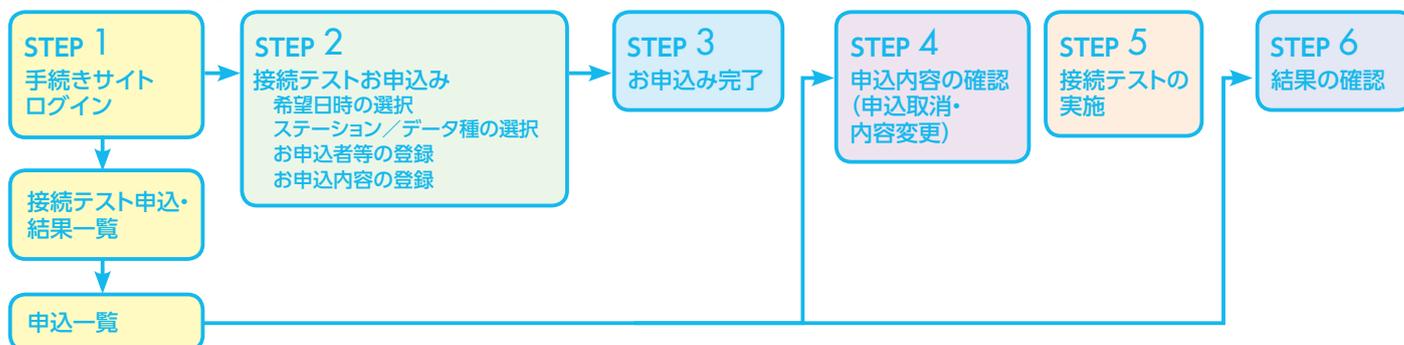
接続テストのお申込みについては、各種サービスのお申込みにご利用いただいている手続きサイト内の接続テストメニューより受け付けております。

このたび、より多くのユーザー様にご利用いただけるよう、2019年10月より接続テストの実施時間を（365日 7時～23時）に拡張いたしました。手続きサイトでは接続テストの実施結果も確認いただけます。ぜひ、ご活用ください。

接続テストの実施時間拡張について

	実施時間	備考
従来	平日 9時～18時	接続テストのお申込みは、毎週木曜日の定期メンテナンス時間帯（22時～24時）を除き、24時間365日受け付けています。
拡張後	365日 7時～23時	

お申込みから接続テスト実施までの流れ



手続きサイトURL <https://member.finet.co.jp/fts/userLogin/>

■PSTNマイグレーションについて

東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社（以下、NTT東西）より2017年10月17日に従来の公衆交換電話網から、光ブロードバンドをベースとしたIP網への移行を2024年1月より開始することが公表されています。

また、この移行のタイミングで、INSネット（デジタル通信モード）の提供を終了することも併せて公表されており、EDI通信で利用されている「全銀協TCP/IP手順」などの従来手順がご利用いただけなくなる可能性があります。さらに、NTT東西以外のISDNサービスをご利用の場合は、2023年1月から処理遅延が発生する可能性についても示唆されています。

そのため、弊社では以下の通信手順への移行を**2022年12月まで**に実施いただくことを推奨しております。

インターネット手順（JX、ebXML MS 2.0、AS2）、全銀協TCP/IP手順・広域IP網※1、FTP※1

※1 専用線接続サービス利用時のみ、選択いただけます。

専用線接続サービスはユーザー様拠点と弊社VANを接続するための独立した閉域ネットワークを提供するものです。

サービスの詳細につきましては、運用管理部（03-5643-3410）までお問い合わせください。

JCA手順および全銀協BSC手順につきましては、2022年11月末を以て提供終了とさせていただきます。

インターネット手順への移行手続きにつきましては、手続きサイトにてお申込みを受け付けております。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

ファイネット ヘルプデスク



0120-091-094 (受付時間 7:30～23:00)

FINE FINETの送付先等の変更について

今回、ご送付いたしております「FINE FINET(ファイン・ファイネット)」の宛名や部数の変更等がございましたら、以下までご連絡ください。

【連絡先】

株式会社ファイネット 営業推進部

Tel.03-5643-3450

e-mail marketing-promotion@finet.co.jp

ご担当者情報を最新の状態に保つためにご協力をお願いいたします

弊社では、サービスに関する重要なお知らせをお届けするため、ご加入ユーザー様にはデータ交換に関する窓口の登録を行っていただいております。

お忙しいところお手数をお掛けしますが、手続きサイトより「担当者登録状況」をご確認のうえ、ご担当者の登録情報に変更がある場合は、お早めに手続きを行っていただきますようお願いいたします。

【お申込方法】

(1) 弊社、手続きサイトからお申込ください。

手続きサイトURL <https://member.finet.co.jp/fts/userLogin/>

(2) 手続きサイトのご利用方法がご不明の場合のお問い合わせ先

ファイネット ヘルプデスク  **0120-091-094** (年中無休7:30~23:00)

ファイネットへのお支払は、お得で便利な「預金口座振替」をお勧めします

弊社では、お支払方法に「預金口座振替」がございます。この機会に、是非ともご検討いただければ幸いです。

【ご利用のメリット】

(1) お振込手数料は、お客様負担となりますが、振替手数料は弊社負担でございます。

(2) 月々のお振込手続きが不要になり、業務の簡略化が図れます。

【お申込方法】

(1) 弊社、手続きサイトからお申込ください。

手続きサイトURL <https://member.finet.co.jp/fts/userLogin/>

(2) 手続きサイトのご利用方法がご不明の場合のお問い合わせ先

ファイネット ヘルプデスク  **0120-091-094** (年中無休7:30~23:00)

株式会社ファイネット

FINE FINET (ファイン・ファイネット)

Vol.53 2020 Spring 2020年4月1日発行

[発行] (株)ファイネット 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町13-2 兜町偕成ビル7階

TEL.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499

[編集・発行責任者] 久我 章良



FINET

<https://www.finet.co.jp>